

下野市立石橋小学校

1 学校課題

(1) 研究主題 「豊かな心で、共に生きる子どもを育む道德教育」

～自ら考え、学び合う道德の時間をめざして～

(2) 研究の仮説

- ① 資料や指導の手立ての工夫を通して、心に響く道德教育の充実を図れば、感動する心、正義公正を重んじる心、生命・人権を尊重する心など道德的価値を大切にする心や態度が育つであろう。
- ② 思考力・判断力・表現力を育む言語活動の充実を図れば、自ら考え、豊かに表現しようとする態度を養い、豊かに学び合う集団が育つであろう。
- ③ 他の教育活動と道德学習の関連を図り、日常の教育活動の中で、児童に課題意識を持たせることによって、道德的実践力が育つであろう。

(3) 研究の基本方針

- ① 道德的価値を大切にする心や態度を育てる。
- ② 言語活動の充実を図り、豊かに学び合う集団を育てる。
- ③ 道德の時間と各教科・領域との関連を図り、日常の教育活動の中で意図的な働きかけを行う。
- ④ 外部講師の活用を図り（S&Uコラボ事業等）、研修会の充実を図る。

(4) めざす児童像

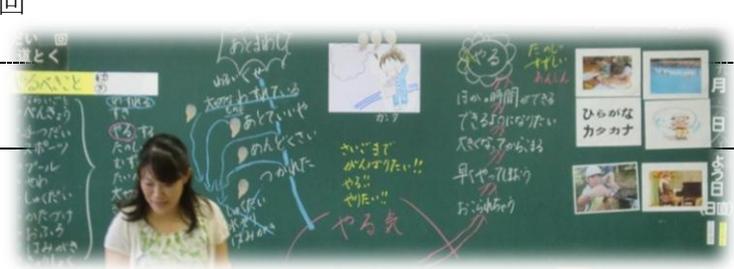
友達と学び合って、考えを深め、よりよく生活しようとする児童

(5) 育てたい力

道德的な心情、道德的判断力、道德的実践意欲と態度などの道德性を磨き、自分の中の道德的価値を高める力

2 研究計画

月	主な研究内容
4～5	<ul style="list-style-type: none"> ○学校課題確認、共通理解、組織作り ○学年ブロック会による年間計画の見直し、資料選定
6	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研修 ○指導案検討会（学年会・ブロック会）
～	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業・指導主事による学年会での研修会・全体会
12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7/17 共同訪問道德 2年2組 6年3組 ・ 9/10 第1回S&Uコラボ事業 2年1組 6年2組 ・ 12/18 第2回S&Uコラボ事業 1年1組 5年1組 ○自主公開授業 道德6回 その他4回 ○調査部・環境部会に基づく活動
1～2	<ul style="list-style-type: none"> ○本年度の反省及び次年度の計画 ○研究集録作成



3 研究内容

(1) 心に響く道德授業に取り組む

- ① 児童の問題意識を大切にする。
導入で問題意識を持たせる工夫をする。
児童の意見をつなげる展開や板書を工夫する。
- ② 児童が本音で語り合える授業を目指す。
受け入れられ認められる安心感をはぐくむ話合いの工夫をする。
児童の考えがまとまる間を大切に、教師の発言は絞る。
- ③ 児童の実態に添った価値を考える。
育てたい価値の追求に向かって資料を2時間扱いの展開も考える。

児童の実態によって、同じ教師が同じ資料でも展開や中心発問をかえて、心情を深める。

(2) 教師同士も学び合える授業研究会の在り方

- ① 指導や技術に関する情報を共有する。
- ② S&U コラボ授業、共同訪問、自主公開授業を利用し、一人一授業公開授業を行う。

ア 共同訪問 2年2組「おれたものさし」

6年3組「ファミリーレストランで」

下野教育事務所 土方指導主事 稲葉指導主事 清水副主幹

イ 第1回 S&U コラボ事業 2年1組「あとまわしおぼけがでたぞ！」

6年2組「プロを夢見た野球少女」

宇都宮大学教授 渡邊 弘先生

下野市教育委員会 指導主事 高山靖子先生

ウ 第2回 S&U コラボ事業 1年1組「二わのことり」

5年1組「おじいさんのあたたかな目」

宇都宮大学教授 渡邊 弘先生

下野市教育委員会 指導主事 塩沢 建樹先生



- ③ 授業研究会は付箋紙を利用したワークショップ形式
- ④ 自己評価の「研修の振り返り」を活用する。
- ⑤ 部会の研修で「内容項目分析表」を作成し価値についての理解を深める。

4 本年度の成果と課題

(1) 研究の成果

- ① 研修課題について教員全員が「重点目標を共有し実践できた」「おおむねできた」と考えている。各自が新たな気付きや学びを吸収し、目指す児童像に向け実践してきたため、授業力が向上した。
- ② 児童の考えに寄り添いながら効果的な発問を研修してきた。道徳だけでなく、他教科や領域、特別支援学級においても指導に生かせるようになった。
- ③ テーマを中心部分に据え、発問や板書構成を工夫してきた。児童の考えが互いに関連しながら補足し合い、ねらいとする価値を中軸とした話合いができるようになった。学び合いの場としての役割を果たせるようになってきた。

(2) 今後の課題

- ① 児童が「ねらい」に迫ることができたかどうかの個別の見取りを大切にし、継続したい。
- ② 内容項目をどう考えるかが授業深く関わるので、本校の重点項目を決め、価値項目についてみんなが納得できるように研修したい。
- ③ 本年度の取り組みの成果と課題を踏まえて、次年度の道徳教育全体計画を見直し、道徳的実践力を高めるための日々の取り組みを考えていきたい。
- ④ 研修を重ね、授業に取り入れたいことが多くなり、自主授業公開に負担を感じる傾向が見られる。教師各自のよさを互いに学び合えるような、自由な雰囲気自主公開授業を多く設定したい。



